

# 1日目 20日(水)

## グローバル 経営者フォーラム



### INFORMATION 10:50~

開会にあたっての挨拶、注意事項等

### 基調講演 I 11:00~12:10

## 日本人は「国際人」という 言葉の認識を改めて考えるべき時

私は四十年近く日本に住んでいます。最高に住みやすいし、長く住むほどに日本の皆さんが羨ましくなります。日本に生まれた人はなんと幸せかと思えます。料理、芸術、文化、治安。どれをとっても最高ですし、何より全てが清潔です。また、素晴らしいのは日本に住む人々です。礼儀正しく、真面目で、働き者。思いやりがある人が圧倒的で、初めて会ったにもかかわらず、すぐに信頼しても大丈夫という人々で溢れている先進国は日本だけです。

それなのに、日本人は**世界で最も不幸な国民**でもあると思えます。

- ・「WGIP」文書とはなにか
- ・日本人のマインドコントロールが解けていない理由
- ・「日本に与うる新聞遵則」って知っていますか？
- ・ジャーナリスト、マイケル・ヨン氏
- ・韓国って戦勝国なの？「中華人民共和国」って？
- ・真実をねじ曲げるとブーメランのように戻る
- ・三千ドル(30億円超)と7年歳月で「IWGの最終報告書」とは
- ・もし、テキサスで起こったとしたら
- ・嘘は嘘であることに変わらない

## ケント・ギルバート 氏

米カリフォルニア州弁護士、タレント



1952年、米アイダホ州生まれ。71年に初来日。80年、国際法律事務所就職して東京に赴任。83年、TBS系列「世界まるごとHOWマッチ」に出演し、一躍人気タレントへ。最新刊は「不死鳥の国・ニッポン」(日新報道)。公式ブログ「ケント・ギルバートの知ってるつもり？」では辛口の意見を発信中。

### 分科会 I 13:20~14:20

## 経営も格闘技も誤魔化しは効かない。 逆境は必ず価値になる！

失明しておヒクソン・グレーシーと渡り合った侍。逆境を前にひるまない生きかたから、経営者として何をつかみとるのか？

パラエストラ東京 代表

## 中井 祐樹 氏



柔術家、元総合格闘家。日本ブラジリアン柔術連盟会長。元日本修斗協会会長。北海道浜益郡浜益村(現・石狩市)出身。パラエストラ主宰。北海道札幌高等学校卒業、北海道大学中退。元修斗ウェルター級王者。

## 現役クラウン(道化師)から学ぶ 感動サービス(CS)

20年間のクラウンパフォーマンスで培われた、生きたおもてなし。現役道化師の目線から見たサービスマインドとテクニック。今なお現場に出続ける現役だからこそ伝えられるノウハウは、すべてのサービス業に応用できる

有限会社プレジャー企画 代表取締役会長

## 大棟 耕介 氏



総勢約40名のクラウンチーム「プレジャーB」の創立者。その場にあるものを頭の上に乘せてしまうバランス芸などのパフォーマンスは観客を惹きつける。病院を回る『ホスピタル・クラウン』の活動は、数多くのメディアに取り上げられ、テレビ取材も多く講演会は年間200本ほど。

## 今！「国家資格」を超える 「民間資格」が必要な理由

①土業の実態 ②土業ではなく「顧客の視点」が出发点 ③経営段階・行政対応段階が原因 ④「顧客の視点」からの改革の必要性 ⑤「土業格差」⑥「経営」と「土業」のギャップ(問題) ⑦経営者は「土業」を選び活用して経営を守る

鳥飼総合法律事務所 代表弁護士

## 鳥飼 重和 氏



鳥飼総合法律事務所代表弁護士。中央大学法学部卒業。前日本税理士会連合会顧問。昨今では税務調査士資格認定講座を開始し、経営・法務・税務を統合し、真に社会の人々に役立つ土業のビジネスモデルを構想している。

### 分科会 II 14:40~15:40

## アメリカンドリームをかなえた 吉田潤喜のビジネス・人生哲学とは！

2005年にNewsweek誌「世界で最も尊敬される日本人100」に選出 米国の中小企業局が選ぶ24社として、FedEX, Intel, AOL, HPと並び「殿堂入り」、今やアメリカでの知名度はイチローを凌ぐと言われる

「アメリカのソース王」ヨシダグループ会長兼CEO

## 吉田 潤喜 氏



1949年、京都生まれ。1969年、アメリカに憧れ500ドルだけを持ち単身渡米。波乱万丈のアメリカ生活をサバイブした末、自家製秘伝のタレをベースにしたヨシダソースを生産販売してアメリカンドリームを体現。現在は会長職務の傍ら、オレゴン州ビジネス開発局などの理事を努め、慈善活動にも注力している。

## 現実を変えるために、常識を疑い、 既成概念を超えろ！

地方創生を実現すべく、行政を変革するための戦いの真実。樋渡社中が形にしたい“志”とは何か？ストーリーをヒストリーに変える。地方創生の形とは

前武雄市長、樋渡社中株式会社 代表取締役

## 樋渡 啓祐 氏



1969年佐賀県武雄市生まれ。1993年東京大学を卒業後、総務庁(現総務省)に入庁。2005年当時全国最年少36歳で武雄市長に就任。2015年1月佐賀県知事選で敗れ、まちづくりの株式会社である樋渡社中を結成しCEO。内閣府所管である地域経済活性化支援機構の社外取締役、ふるさとスマホ株式会社代表取締役社長等に就任。

## 絶対に倒産しない(させない) 会社の財務が自然と強くなるSHIP会計って何？！

①企業再生という地獄？修羅場？を見てきたから分かる事 ②税理士の作る決算書(税務会計)が誤解を与える ③倒産はP/Lではなく、B/Sの問題 ④現預金を4つの色に分けると浮き彫りになるもの ⑤売上を1円も上げず、経費を1円も下げずに借入を返した事例が続々 ⑥「えっ？まだ銀行と付き合っているんですか？」を当たり前に ⑦全国の会計事務所が導入すれば倒産が無くなる (国家への絶大な貢献!!)

税理士法人ACS 代表社員

## 大久保 圭太 氏



横浜市生まれ。早稲田大学商学部 卒業。中央青山PWCコンサルティング株式会社(現みらいコンサルティング株式会社)入社。税理士法人ACS 設立、ASPO(アジア土業共同体)東京オフィス責任者 就任。

### 分科会 III 16:00~17:00

## これからの経営者が 最低限押さえておくべき海外金融活用法

・グローバル化とリスク ・リスクマネジメントとしての資産運用  
・オフショア金融の活用事例  
・中堅企業でも採用できる上場企業の海外金融活用事例

GLOBAL SUPPORT LIMITED 最高執行責任者

## 中村 公一 氏



香港在住16年。2006年より現職。香港本社、バンコク・上海・日本を拠点に日本人の経営者・Dr・士業等の海外進出支援・視察ツアー企画を行っており、海外をテーマとした様々な分野の専門家とのコネクションを持つ。北海道～沖縄の4,500人を超える会員向けに、年間約140回の各種セミナーを開催している。

## トライアスロンから学ぶもの ～経営・イベント・社会を結ぶ世界～

「企業」・「行政」・「住民」を巻き込み、ムーブメントを起こすトライアスロン。企画を育てていく本質はまさに経営に通じるものがある。

スポーツナビゲーター&トライアスリート/アスロニア代表

## 白戸 太朗 氏



初の日本人プロトライアスリートとしてワールドカップを転戦。アイアンマンへ転向後も世界を舞台に活動を続け、アドベンチャーレースにも積極的に参加。現在は選手活動と共に、レースコーディネイトやスポーツ中継キャスターなど、スポーツナビゲーターとして活躍。2008年よりトライアスロン普及のためにATHLONIAを設立、代表就任。

## 会社を継続するために知っておくべき3つの方法 ～経営継承に悩む経営者と、士業限定！～

・経営継承が何故今問題になっているのか？ その理由を押さえて対策を立てる ・会社の出口は5つしか無い。それぞれの論点を整理し、自社の出口戦略を明確にする ・上手い経営継承のための専門家の活用法

ゆたか税理士法人 副代表

## 村井 香苗 氏



一部上場企業で営業やマーケティング業務に従事後、税理士へ転職。経営者にとって、事業承継・M&Aは『経営の出口であり、セカンドライフの入り口でもある』という想いで、承継する側・される側のWIN-WINを目指し支援中！